

# 真夏の昼下がが大衆演劇へのお誘い

## 活動報告書

担当 1 班 2025 年 7 月 27 日

1. 実施月日：2025 年 7 月 25 日（金） 晴
2. 集合場所：ホワイトティうめだ 泉の広場
3. 集合時間：11 時 10 分
4. 参加者数：71 名
5. 演劇会場：梅田呉服座（プラザ梅田ビル）
6. 実施結果：

11：10（泉の広場に集合・全体写真・オリエンテーション）

→ 11：30～12：30（梅田呉服座へ入館・着席・昼食・班長会）

→ 12：30～15：30（演劇観賞）→ 15：30（梅田呉服座にて解散）



## 7. 大衆演劇のルーツと特徴

大衆演劇のルーツは江戸時代まで遡り歌舞伎や人間浄瑠璃などの伝統芸能はもともと大衆演劇から誕生したと言われています。大衆演劇は一般大衆を観客として娯楽性のある舞台を上演する演劇のことです。現在の大衆演劇はお芝居とショーの 2 部構成が殆どで、きらびやかで何度見ても面白い大衆演劇は年配の方だけでなく若い世代のファンにも支えられており全国に 120 程の劇団が存在しております。大衆演劇の特徴は「ケレン」にあるといわれております。ケレンとは見た目本位の奇抜さや派手さを狙った演出ですがこれは、何よりもお客さん本位に立った演出なのです。また女形を演じる役者さんの姿には日常では決して出会えない一種独特の美があります。もう一つは役者さんの演技がお客の近くで演じられ、舞台の遠い商業演劇では得られないものがあります。

## 8. 今回観賞した大衆演劇の考察

それでは、今回観賞した櫻春之丞座長と三代目櫻京之介座長率いる「劇団花吹雪」による娯楽性の高い舞台演劇を振り返ってみたいと思います。

- (1) 演劇構成：構成は来客された客層により変化を加えるらしく今回は、「顔見世ショー」「お芝居」「口上挨拶」「グランドショー」の 4 部構成でやはりグランドショーに力点が置かれていた。
- (2) ファンの層：劇団花吹雪は国境を越えて活動している若さ溢れる座員メンバーで若年層から高齢者にいたる幅広いファンを有し、特に若い女性による「おひねり」が頻繁に行われていて時代の変化を読み取ることが出来る一面であった。
- (3) ケレン性：特にグランドショーではそれぞれの音楽に合わせて、役者に相応しい派手な着物や化粧で踊りがくりひろげられ奇抜な演出が展開。女形を演じる役者はまさに竹久夢二の絵の世界でそのまなざしや流し目には独特の美しさがあった。
- (4) 客との距離：呉服座は舞台と客席が近く観賞しやすい構造。終演後役者が来客の送り出しを実施。

## 9. 参加された会員の声

- ・一人では見る事のない呉服座の芝居、涼しく過ごせました。昭和のヘルスセンターが懐かしい。
- ・劇団花吹雪の好演なかなかのものでした。衣装も踊りも素敵でした。おひねりが気になります。
- ・初めての芝居興味深く拝見しました。おひねりもあり今でも楽しいファンがいると愉快ですね。
- ・華やかな舞台で暑気払いできました。
- ・そら組は知的レベルが高く大衆演劇の観賞はミスマッチな印象。むしろクラシック音楽会がベター。